

(臨床研究に関するお知らせ)

埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で検体や情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、末尾の【問い合わせ先】にご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】がん診療連携拠点病院におけるアピアランスケア実装支援介入プログラム
の実施可能性：単群前後比較試験ーがん薬物療法による脱毛ケアを重点にー

【研究責任者】看護部 大谷 恵

【研究の背景】がん治療により脱毛や乳房切除など多くの外見の変化に伴う苦痛が生じることが知られ、外見変化へのケア（アピアランスケア）は 2023 年 3 月第 4 期がん対策推進基本計画の重要課題となっています。研究班では、がん患者においてニーズが高いこと、個別の能力向上のみならず組織的な実装が重要であることを明らかにしました。そのため、全国がん診療連携拠点病院において、職員全体がアピアランスケアに取り組む（実装）ことを支援するアピアランスケア実装支援介入プログラム（以下、アピアランスケア実装支援介入プログラム）を開発しました。今回の調査後には、全国的なアピアランスケアの普及を目指しております。

【研究の目的】本研究の目的は、アピアランスケア実装支援介入プログラムの実施可能性と予備的な有効性について検討することです。病院において中心に取り組む医療従事者がアピアランスケア実装支援介入プログラムに参加し、病院においてアピアランスケアの改善に向けての活動を行っていただきます。その評価のために、がん薬物療法後に脱毛を生じた患者の皆さまを対象に自記式質問紙調査を行う計画をしております。

本研究については、国立研究開発法人国立国際医療研究センター（NCGM）の倫理審査委員会で審査・承認された後、NCGM の理事長の許可、並びに、各共同研究機関（全国のがん診療連携拠点病院のうち 4-5 施設）の長の実施許可を得て実施しています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

がん薬物療法後に脱毛を生じた患者さん 30 名

●研究期間

倫理審査委員会承認後から 2027 年 3 月 31 日までとし、登録期間が 2025 年 10 月 31 日まで、観察期間が 2025 年 12 月 31 日までです。

●利用する試料・情報

がん薬物療法後に脱毛を生じた患者の皆さまを対象とした無記名の自記式質問紙調査

【研究組織】

この研究は、多施設での共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：

国立国際医療研究センター国立看護大学校 看護学部長 飯野 京子

●その他の共同研究機関

全体は、[HTTP://AP-KENKYU.UMIN.JP/](http://AP-KENKYU.UMIN.JP/)

国立がん研究センター中央病院 藤間勝子（アピアランス支援センター長）

国立国際医療研究センター病院 清水千佳子（がん総合診療センター長）

恵佑会札幌病院 渡辺由美（副病院長/看護部長）

函館五稜郭病院 高橋美知枝（外来検査・治療部門 看護師長）

高松赤十字病院 戸井恭子（看護部 看護師長）

【情報の保管】

収集した紙媒体（質問紙）の情報は、解析する前に氏名、生年月日等の研究に不要な情報を削除し、代わりに研究用の識別符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを仮名化といいます）。仮名化した紙媒体の情報は提供先研究機関に提供し、提供先研究機関は施錠可能なロッカーで厳重に保管します。識別符号と被験者の対応表は、当施設にて、研究責任者のみ使用できる施錠可能なロッカーで厳重に保管します。

国立病院機構埼玉病院

看護部 看護部長 大谷 恵

電話 048-462-1101